

Qちゃん
市内に住む小学生



キュー

Qちゃんの、つぼくら先生！ 放射線のこと教えてコーナー

つぼくら先生
相馬中央病院医師
福島医大主任教授



震災から15年たって、放射線ってどう変わったの？

Qちゃん 先生、今年で東日本大震災から15年だね。僕は生まれていなかったからよく分からないけど、大人の人たちは「あの頃は本当に不安だった」ってよく話していたよ。放射線のこと、当時はすごく心配されていたんだよね？

つぼくら先生 原発事故の直後は、情報が少なく、何が起きているのか分からなかったから、みんな不安だったんだ。でも分からないからこそ、国・県・市は、空間線量の高い場所の除染を進めて、各地で定期的に線量測定を行い、その結果を公表してきたんだ。たくさんの測定や調査が積み重なって、市内の放射線の分布や推移がはっきり分かるようになってきたんだよ。

Qちゃん 長い間測定や調査を続けてきたんだね。その間どんな変化があったの？

つぼくら先生 まず、市内の放射線量は事故直後からそれほど高くはなかったけど、時間の経過とともにさらに下がって、今では日本のほかの地域や世

界の国々とほとんど変わらない低いレベルになっていることが、数値でしっかり確認できたんだ。原発事故の直後に不安を解消するのは難しかったけど、国・県・市が測定を続けて空間線量の測定結果を記録してきたことで、安心して暮らせる環境が整えられてきたんだよ。

Qちゃん 確かに、僕の周りでも「最近では放射線の話が聞かなくなった」っていう人が多いね。

つぼくら先生 心配する人が減ったのは、長い間放射線量の測定が続けられたことで、測定結果を確認できることが安心につながったからだと思うよ。これからも市は測定を続けて、みんなが安心して暮らせるように情報を出していくよ。震災から15年という節目だからこそ、改めて記録を残すことの大切さを伝えていきたいね。

Qちゃん 僕も相馬市が放射線量の測定と記録を続けてきたことを大人になっても伝えていくよ。先生、今までいろいろ教えてくれてありがとう。

今回Qちゃんが分かったこと

- ▽国・県・市は、みんなが安心して暮らせるように線量の測定と記録を積み重ねてきたこと。
- ▽東日本大震災から現在まで、市内の放射線量は年々減少し、現在は安定して低いことが確認されていること。

※同コーナーは、3月1日号で終了です。長い間ご愛読ありがとうございました。

●問い合わせ先 放射能対策室 (☎ 37-2270)

自家消費野菜などの 放射性物質測定結果

●1月分

▽測定件数 1件

▽基準値を超えた食品 0件

●相馬市で出荷制限などを受

けている食品 (2月2日現

在) ▽クサソテツ (コゴミ)

▽タケノコ▽フキノトウ (野

生) ▽ゼンマイ▽タラノメ (野

生) ▽コシアブラ▽ウド (野

生) ▽原木シイタケ (露地)

●県の定める管理計画に基づ

き管理されるものを除く▽原

木ナメコ (露地) ▽キノコ (野

生) ●県の定める出荷・検査

方針に基づき管理されるもの

を除く

※最新の情報は、県農林水産

物・加工食品モニタリング

情報ホームページ内の「出

荷制限等一覧」で確認くだ

さい。

ホームページは
こちら



◎これまでの食品の検査結果
(市ホームページ)

ホームページは
こちら



●問い合わせ先 放射能対策
室 (☎ 37 2 2 7 0)